

## 2021 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 布花原 明子	職名 教授	学位 修士(看護学)(兵庫県立看護大学 2001 年)
-----------	-------	-----------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動 公衆衛生看護学教育

研 究 課 題
公衆衛生看護学において、地域の健康課題の解決に向けた公衆衛生看護活動の方法、発展要因との関連、支援課題について考察する。また、保健師基礎教育の効果的な教育方法について考察する。

担 当 授 業 科 目
公衆衛生看護方法論Ⅰ(前期) 公衆衛生看護活動演習(前期) 公衆衛生看護学実習(前期) 公衆衛生看護方法論Ⅱ(後期) 公衆衛生看護学概論(後期) 災害看護学(後期) 看護総合演習・実習(前後期)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p><b>授業科目名【公衆衛生看護方法論Ⅰ】</b></p> <p>対面授業(一部、遠隔)にて実施した。公衆衛生看護における対人支援の技術について、基礎的な知識及び理論を理解できるよう、講義の最初にキーワードの説明を行った後、事例を提示し、学生が知識や理論を用いて考え、理解を深められるように工夫した。教材動画コンテンツを活用し、講義、視聴、ワークを組み合わせ進めた。</p>
<p><b>授業科目名【公衆衛生看護活動演習】</b></p> <p>実習地域のアセスメントを行う「地域診断演習」と、実習地域に生活する人々を対象とした「家庭訪問」「健康教育」の技術演習を実施した。グループメンバーとの関係を形成し、実習への意欲、保健師学生としての態度を備えることも意図している。集中講義では進度が速いため、各グループの進捗状況を把握し、授業時間外にも質問対応ができるよう配慮した。技術演習では、対面と遠隔とを組み合わせ、両方のメリットを生かしてハイブリッドで実施した。</p>
<p><b>授業科目名【公衆衛生看護学実習】</b></p> <p>北九州市保健所及び3区役所を担当した(5週間)。現地実習の機会が少なかった学生が、指導者との関係を形成し、能動的に実習に取り組めるよう、巡回時に学生の状況について実習指導者と情報交換し、実習期間中の調整を行うよう工夫した。また、事例検討や成果発表に向けて、実習指導者と意見交換ができるよう、グループメンバー間の相互学習を促すよう工夫した。</p>

<p>授業科目名【公衆衛生看護方法論Ⅱ】</p> <p>地域全体を対象とした公衆衛生看護方法について、講義の最初にキーワードの説明を行った後、事例を提示し、学生が知識や理論を用いて考え、理解を深められるように工夫した。地域診断では、理論を用いて一部を演習した。学生が、集団として地域を捉えるための統計データの見方や、将来を予測し予防の視点でデータをアセスメントすることの必要性について、実践的に理解できるよう工夫した。</p>
<p>授業科目名【公衆衛生看護学概論】</p> <p>全15回のうち4回を担当し、公衆衛生看護の理念及び対象理解と支援方法について担当した。行政保健師の経験を生かし、地域保健活動事例などを紹介しながら、保健師について理解と関心を高められるよう講義を行った。また、講義後に提出される授業の学び及び質問への対応を随時行った。</p>
<p>授業科目名【災害看護学】</p> <p>災害看護に関する基本的な知識と実践活動を紹介します。学生が卒後の進路を意識して、災害看護への関心、意欲を高めることができるように工夫した。地域、病院、災害支援組織における災害看護活動の実際と看護の役割について、災害看護の活動経験をもつ医療者を講師に招き実践的な授業を進めた。</p>
<p>授業科目名【看護総合演習・実習】</p> <p>現地及び遠隔実習のハイブリッドで実施した。学生が実習企業の健康課題を分析し、課題解決の施策、事業計画を立案し、一部を実践できるよう、全プロセスを指導者と随時協議し指導した。新規施設が加わり、学習環境の整備に努めた。企業が提供可能なデータのセキュリティ管理を厳重に行い、現地実習に近い演習・実習ができるよう工夫した。成果発表後のレポート作成では、看護実践内容について考察の視点や文献検索及び引用の仕方について丁寧な指導を心がけた。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本公衆衛生学会	一般会員	1994年4月～現在に至る
日本看護科学学会	〃	2001年3月～ 〃
日本地域看護学会	〃	2001年4月～ 〃
日本看護教育学学会	〃	2003年4月～ 〃
日本公衆衛生看護学会	〃	2014年4月～ 〃

2021年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				

2021年度 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学会発表) 若年妊産婦の継続的な個別支援の明確化と標準化に向けて	共	2021.12	第80回日本公衆衛生学会 (於 京王プラザホテル 東京)	① 若年妊産婦を対象に、家庭訪問及び妊婦登録カードから抽出された実態について、保健師間で支援課題を分析し、母子健康手帳交付から小学校入学までの個別継続支援マニュアルを作成し報告した。 ② 共同発表者 萬徳香織、 <u>布花原明子</u> ③ 第80回日本公衆衛生学会抄録

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
北九州市保健所運営協議会	委員	2009年4月～現在に至る
北九州市介護保険認定審査会	審査委員	2017年4月～現在に至る
北九州市社会福祉法人審査会	審査委員	2020年4月～現在に至る
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	講師	2012年4月～現在に至る

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)

1. 就職委員 2021年4月1日～2022年3月31日

- ・推薦受験を希望する学生の決定
- ・進路登録カードと就職（進路）報告書の周知と回収
- ・卒業生アンケート 回収率 34.1%（前年度 19.6%）
- ・学科3年生保護者を対象とした「就活動向と対策」情報提供の企画、調整

2. 看護学科3年生アドバイザー 2021年4月1日～2022年3月31日

- ・保護者懇談会
- ・個別面談による学生生活支援
- ・看護師国家試験低学年模試実施（9月・3月）及び学習ポートフォリオ作成指導